



水素と軽油で動き、二酸化炭素排出を50%削減できる旅客船  
「ハイドロびんご」  
|| 23日午後 松山市高浜町

世界初の旅客船「ハイドロびんご」の見学会が23日、松山市

高浜町の松山観光港であり、小学生など66人が地球温暖化対策への理解を深めた。

長19・4m、総重量19tの小型旅客船（定員82人）で、造船などを手掛ける「ツネイ

「ハイドロびんご」は、全トヨタの水素を用いた燃



水素で動く旅客船「ハイドロびんご」の解説を受ける  
参加者ら=23日午後、松山市高浜町

若い世代に水素社会の到来を実感し、脱炭素化を考える。若くして、脱炭素化を考へてもらおうと、松山市SDGs（国連の持続可能な開発目標）推進協議会の「水素ステーション導入に向けた分

科会」が主催。市内の小学年生や松山工業高校の生徒などが参加した。「ハイドロびんご」は、全で動くのはすごい。多くの人が（脱炭素化の成果を）実感して水素動力の乗り物が広まる」と話した。



## CO<sub>2</sub>半減 脱炭素化へ期待

### ■ ■ 松山で児童ら向け見学会

縮小率：95%